

カーボンニュートラル社会の実現に貢献

F-ZEROタイプRTG^{※1}

※1 RTG = Rubber Tired Gantry crane

F-ZEROタイプRTGを開発

神戸港・川崎港のコンテナターミナルへ納入し、 カーボンニュートラルポート実現に貢献

三菱重工業株式会社と三菱ロジスネクスト株式会社は、港湾におけるCO₂排出量削減への取り組みとして開発した「F-ZERO (Future-Zero)」タイプ新型タイヤ式門型クレーン(RTG)を神戸港ポートアイランドPC-18コンテナターミナルや川崎港コンテナターミナルへ納入し、稼働を開始いたしました。

三菱重工と三菱ロジスネクストは今回のF-ZEROタイプRTG納入を通じ、国が推進を進めているカーボンニュートラルポート(CNP)^{※2}の実現に貢献するとともに、グループの総合力を生かして荷役機器の新モデル開発や既存機器の水素燃料電池化などを積極的に推進し、港湾物流における最適なソリューションを提供していきます。



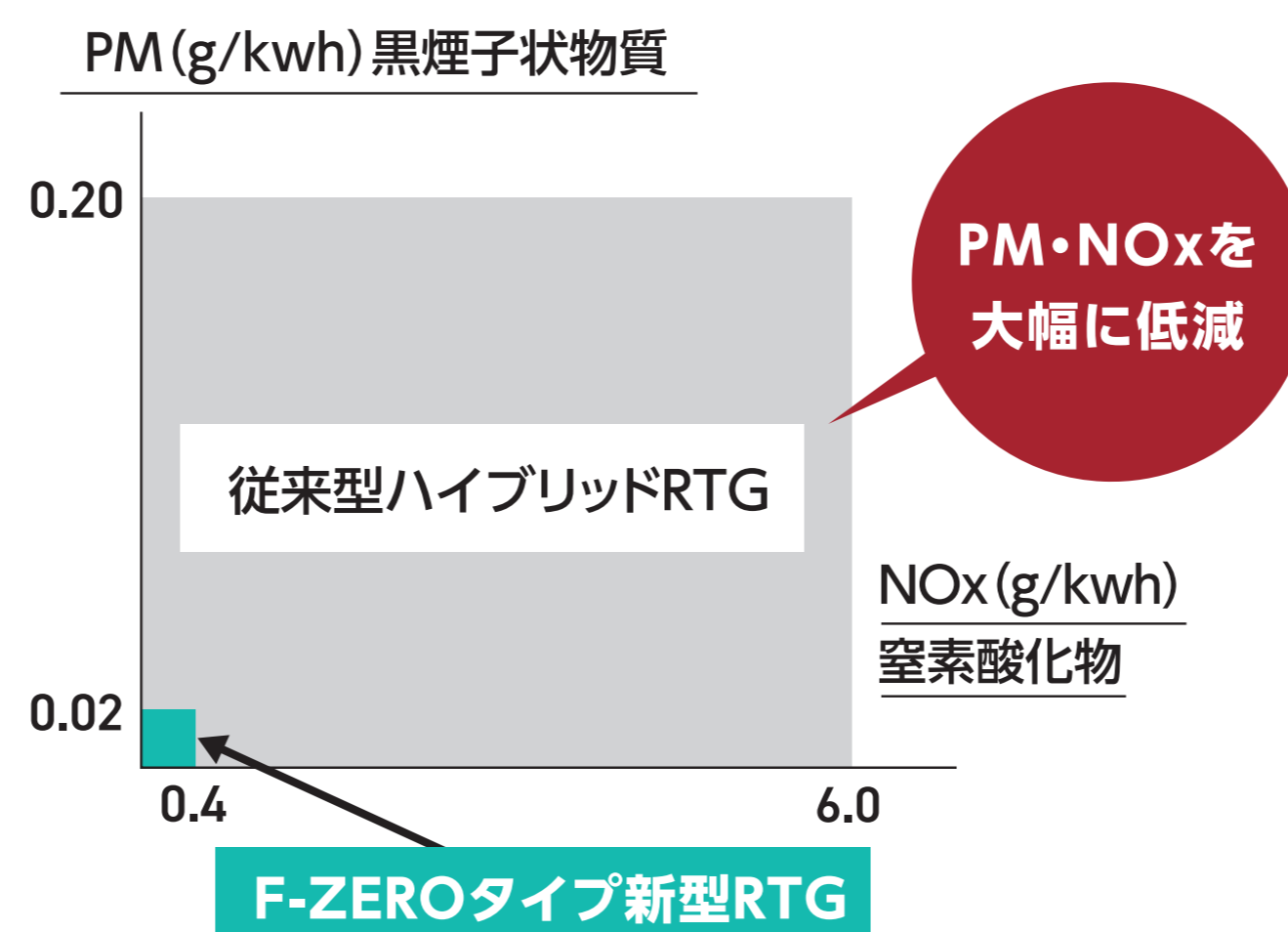
※2 カーボンニュートラルポート(CNP)

国土交通省および全国自治体が検討を進めている、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化などを通じて脱炭素社会の実現に貢献することを目指す政策

従来比約15%燃費改善エンジン搭載と将来的な燃料電池への換装が可能

ディーゼル発電機の小型化により、従来のハイブリッド型RTGで使用されている蓄電池の容量はそのままに、エンジンの排気量・出力を抑え、最適かつ効率的な燃焼制御を実現。これにより、環境省の平成26年排出ガス規制法に適用し、従来比約15%の燃費削減と、CO₂、NO_x(窒素酸化物)、PM(黒煙粒子状物質)の排出量削減を達成しています。また、将来的な水素供給インフラ整備の完了に合わせ、燃料電池ユニットの換装が可能な構造になっています。

大気汚染物質PM・NO_x排出量比較



平成26年排出ガス規制対応 新型エンジン・発電機ユニット



巻下時の回生エネルギーを蓄電し、巻上時に再利用することでCO₂排出低減

コンテナ荷役の際、コンテナの吊下げや移動を担うスプレッダーの巻下時の回生エネルギーを高容量蓄電装置に蓄電し、巻上時に蓄電された電力を再利用することで燃料消費を抑え、CO₂排出を低減する機能を、従来のハイブリッド型RTGと同様に搭載しています。

